

東京薬科大学新聞

発行所 東京薬科大学新聞会

責任者 隈崎修孝

執行委員会選挙

5月26、27、28日

投票日

号外

今年も執行委員会役員選挙の時期となった。今回は左記の日程と場所で行われる。

立ち会い演説会

日時 五月二十二、二十三日

十三時より

場所 コミプラ前

投票 日時 五月二十六、二十七、二十八日

十三時より十五時まで

場所 コミプラ前、部室棟前

この選挙は、投票率が五割に満たない場合無効となり、本年度執行委員会活動できなくなる。そうなれば、部室棟が使用できない等の支障をきたすことになる。

皆さんの意見を反映させ、実り多い大学生活を送るためにも、進んで投票に参加しよう。なお各候補者の所信表明を掲載したので、立ち会い演説と共に投票の参考としていただきたい。

執行委員会委員長候補

西坂秀典

執行委員会は大学とのパイプ役になったり、各部門と直接話し合うことによって、皆さんの要望を実現していく機関です。

委員長に立候補するにあたり、私はまず大学生活における問題点や提案など学生の声を集め、それをできるだけ実現できるように努力していきたいと思っております。また、他大学と本学との掛け橋となつて、交流を活発にしていきたいと考えています。全ての課題を解決することは、私の任期では出来ないかもしれませんが、しかし、精一杯頑張りますので皆さんの暖かいご支援をお願いいたします。

執行委員会副委員長候補

堀川絵理子

私達が学生生活を送っていくにあたって、誰かがやらなければならぬ大切な仕事がたくさんあります。それを学生の代表として行うのが執行委員会です。もし執行委員会

の活動が停止してしまえば、学生生活に様々な支障が出てくるでしょう。私自身も部活動で印刷機を貸し出してもら

うなど、執行委員会の方々には大変お世話になってきました。今度は私が皆さんの役に立ちたいのです。

副委員長という大役が私に務まるかはわかりませんが、委員長の補佐役として精一杯頑張りたいと思います。

執行委員会副委員長候補

坂本 寛

友人に私が執行委員会副委員長に立候補したことを話してみたところ、その中に執行委員会を全く知らない人がいて驚かされました。執行委員会は、学生生活において重要な役割を果たしている機関なのです。にもかかわらずこのように知られていないということは、大きな問題ではないでしょうか。私が副委員長に選ばれたら、皆さんに私たちの活動を広く知っていただけるように努力していきたいと考えています。そして、皆さんのお役に立てるように委員長を助けて一年間頑張りたいと思います。